# 不透明がつなぐ、シーンの間

## 分断された時間をつなげる

指導教員　吉松　秀樹 教授　　印　　3BEB2241　菊地　亮太

### １、ムラのある透明感

霧の中では連続的でありつつも、濃度のムラによってモノが現れたり消えたりする。このような透明感にムラのある空間に興味を持った(Fig. 1) (Fig. 2) (Fig. 3) (Fig. 4) (Fig. 5)。

(Fig. 1) 伊豆の山中の霧

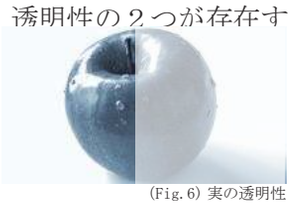
(Fig. 2) 霧の中から現れる友人

(Fig. 3) ムラのある空間

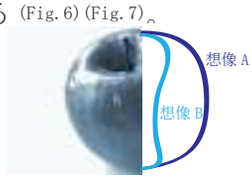
(Fig. 4) シーンの発生

### ２、２つの透明性を併せ持つ

コーリン・ロウの「透明性・虚と実」によると、物質的な実の透明性と、不透明なものがその向こう側を想像させ、複数の認識を生み出す虚の透明性の２つが存在する(Fig. 6) (Fig. 7)。



(Fig. 6) 実の透明性



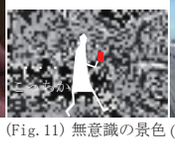

(Fig. 7) 虚の透明性

透明と不透明の両方の性質を持つ霧は、この両方の透明性を持っていると考えた。

### ４、問題提起

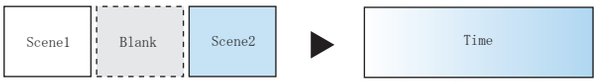
インターネットが移動のムダを消し去り、出発地点－目的地というシーンの写り変わりのような知覚を生んだ。この無意識になった景色に魅力を取り戻したい。(Fig. 10) (Fig. 11) (Fig. 12) (Fig. 13)

(Fig. 10) スマホで検索



(Fig. 11) 無意識の景色

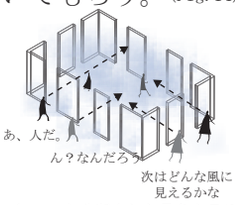
(Fig. 12) シーンが切り替わる



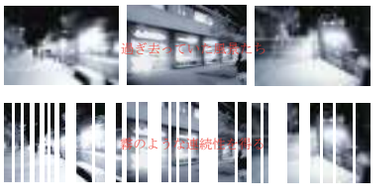

(Fig. 13) バラバラを一つに

### ５、プログラム

霧のような連続性と分断性を併せ持つ空間を経験し、現代の私たちが無意識に行っているシーンの分断と、意識から外れた時間の魅力に気づいてもらう。(Fig. 14) (Fig. 15)




(Fig. 14) 分断された景色を見る




(Fig. 15) 分断された景色がつながる

### ６、提案

現代人の身体感覚に合わせ、霧のような空間をつくる。半透明のフィルターを斜めのグリッド上に配置し、レースカーテンのような空気感を生み出す。モノの気配が時間に沿って連続的に消失したり、突然出現したりする空間をつくる。(Fig. 16) (Fig. 17)

(Fig. 16) 霧空間の写真

(Fig. 17) 平面図・断面図